

令和8年度重点施策「ぶんきょう 認知症 ひろがるみらい展」について

1 趣 旨

認知症当事者の個人の尊重や地域共生の実現に向け、「新しい認知症観[※]」の周知啓発を図るため、令和8年度重点施策（レベルアップ）として「ぶんきょう 認知症 ひろがるみらい展」を実施する。

※ 国の認知症施策推進基本計画（令和6年12月策定）で掲げる「認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」という考え方

2 事業概要

これまで実施してきた「認PAKU～認知症に寄り添う機器展～」の名称を「ぶんきょう 認知症 ひろがるみらい展」に変更するとともに、既存の取組に加え、「新しい認知症観」の浸透につながる取組を実施する。

(1) 認知症サポーター養成講座の実施（継続）

認知症についての正しい知識や認知症当事者との接し方を学び、地域で温かく見守る認知症サポーターを養成する。

(2) VR 認知症体験会の実施（継続）

VR（ヴァーチャル・リアリティ）の技術を活用し、認知症当事者の本人視点で見える景色を体験する機会を提供する。

(3) 認知症に寄り添う機器の展示（継続）

認知症当事者の生活の安定や家族の介護負担の軽減等、地域でより良く暮らすための工夫を取り入れた機器を紹介する。

(4) 認知症当事者の手紙と写真の展示 **新規**

認知症の本人の自筆による手紙（メッセージ）や、認知症になっても楽しみながら、いきいきと日常を過ごしている様子を捉えた写真（パネル）を展示する。

(5) 認知症を理解する書籍・絵本の紹介 **新規**

手に取りやすい書籍や絵本を紹介するとともに、来場者が座って読むことができるコーナーを設置する。

(6) 「オレンジ・メッセージカード」の活用 **新規**

イベントに来場された方が、当日感じたことや認知症当事者へのメッセージ等をカードに書き、ボードに貼るコーナーを設置する。

(7) 認知症を題材とした映画の上映 **新規**

「新しい認知症観」や地域共生の理解の促進につながる、認知症を題材とした映画を上映する。

(8) 「新しい認知症観」周知啓発講演会の実施 **新規**

認知症希望大使や認知症に関する有識者（医師）等をパネリストとして招き、講演やパネルディスカッションを実施する。

その他、認知症を「自分事」として捉え、関心を高めるため、認知症の早期発見や備え等に資する認知症関連事業や関係機関を紹介するパンフレット等を配付する。

3 開催時期（予定）

世界アルツハイマー月間（認知症月間）である9月に3日間、認知症についての理解を深める機会として開催する。

1日目：令和8年9月 1日（火）（上記2(1)(2)の実施）

2日目：令和8年9月17日（木）（上記2(3)(4)(5)(6)の実施）

3日目：令和8年9月30日（水）（上記2(7)(8)の実施）

〈参考資料〉 別紙1・会場と催し内容イメージ（案）